

# 北久米小だより11月

平成22年11月22日  
松山市立北久米小学校




松山市福音寺町9番地  
(089) 976-8431

## 松山市小学校総合体育大会 陸上の部

引率者 猪野 弥生

2学期が始まって間もなく、9月16日から陸上部の練習が始まりました。今年もたくさんの4年生から6年生までの児童が参加しました。5日間の基礎練習から始まり、9月の下旬からは、10月18日の大会を目指して、種目別に分かれての練習が始まりました。どの児童も自分の記録を伸ばそうと一生懸命に練習に取り組んでいました。

いよいよ、10月18日の大会の日になりました。北久米小学校は、7種目の競技に21名の児童が参加しました。どの児童も自己ベストを目指し、練習の成果を発揮しようと大会に臨んでいました。結果は次のような好成績を残すことができました。

女子ソフトボール投げ	第1位	5年	M・K	
女子100メートル	第1位	6年	R・K	
女子走り幅跳び	第8位	5年	M・N	
女子400メートルリレー	第3位	6年	R・W 6年 R・K	
		6年	K・F 5年 M・N	
男子走り高跳び	第1位	6年	K・K	
男子走り幅跳び	第3位	6年	K・A	
男子60メートル走	第7位	5年	K・I	
男子400メートルリレー	第2位	6年	D・M 6年 K・K	
		6年	M・M 6年 K・A	

陸上部の活動を通して、陸上の技能面が伸びただけではなく、礼儀を学んだり、協力したりすることも学ぶことができました。大会の日に、ひととき大きな声で「フレーフレー北久米」と友達を応援したり、競技の後に審判の先生方に「ありがとうございました。」ときちんとお礼が言えたりしている児童を見て、大変うれしく思いました。以下は、大会に参加した児童の感想です。

ぼくは100メートルの選手でした。大会では緊張したけど、一生懸命走ることができました。陸上部の活動では、最後まで集中して取り組むことを学びました。集中しないと腕の振り方や走り方が乱れてしまうからです。この経験を生かして、これからも努力し、もっと速く走れるようになります。 6年 M・O

わたしは、女子ソフトボール投げに出場しました。開会式では、わたしより大きい人がたくさんいて、不安でしたが、アップが始まると同時に闘志がわいてきました。いよいよ本番となりました。応援の人の多さにきんちょうしました。それでも一生懸命投げたので、優勝することができました。 5年 M・K

## 人権教育参観日を振り返って

人権・同和教育主任 藤岡 正

去る10月15日、人権参観日を行いました。平日にもかかわらず、今年もたくさんの保護者の皆様が来られ、本校の人権教育に対する変わらない関心の高さがうかがえました。では、当日の様子を振り返ってみましょう。

### 1 人権集会(あったかハート集会)

テレビ、ラジオなどでおなじみのらくさぶろう氏の講演でした。人に対して決して言うてはならない心を傷つける言葉があること、また、ご自身が高校生の頃、不登校になりかかったときに友達からのさりげない一言のおかげで「また学校に行こう。」という気持ちになることができたことなど、いじめをなくすための言葉の大切さについてのお話でした。笑いが絶えず、ユーモアのある中にも、とても大切なことを学ぶことができました。



### 2 授業参観



全校で《人とかがわり合う力を伸ばす》ことに主眼を置き、各学年・学級ごとに、道徳や様々な教科などで人権について学びました。道徳で親切にしようとする心情を育てたり、学級活動や外国語活動で人とのより良いかかわり方について考えたり、実際に行動する練習をしたりと、どの学級も工夫を凝らした取り組みをしていました。今年も、参観日の後でアンケートも実施しました。多くの貴重なご意見をいただきました。アンケートの結果は、人権教育だより「はーとふる北久米」第2号でお知らせする予定です。多くの保護者の皆様のご参加、本当にありがとうございました。



## 愛媛オレンジリボンキャンペーンを知っていますか

愛媛県では、児童虐待防止や地域全体での子どもの見守り、子育て支援などを幅広くPRするため、児童虐待防止推進月間の11月を中心に、「愛媛オレンジリボンキャンペーン」として様々な事業を実施しています。これは、子どもの人権にかかわることですが、人権教育では障害者、外国人、エイズ患者・HIV感染者、同和問題など、身の回りの様々な差別について学習しています。それは単に知識だけでなく、差別をしない、差別に負けない、差別を許さない人間を育てる教育です。今日ではインターネットによるいじめなど、新たな問題も生じています。今後も本校では、人権教育参観日だけでなく、あらゆる場で人権教育に取り組んで参ります。



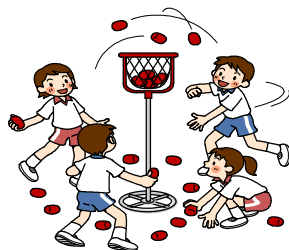


# さわやか体育大会

ひかり3組担任 一色 直美

10月21日(木)番町小学校を会場に第52回さわやか体育大会(松山市特別支援学級連合体育大会・東ブロック)が開かれました。本校ひかり組の児童も「リレーで一等になる。」「かけっこを最後まで一生懸命走る。」「玉入れをがんばる。」など一人一人が自分のめあてをもって参加しました。

開会式では、手作りの旗を持って堂々と入場しました。個人競技では、1～3年生までがかけっこ、4～6年生が障害物競走に出場しました。練習の成果を発揮し、みんな力一杯走りました。団体種目は玉入れでした。北久米小は、全員赤組だったのですが、結果は、赤と白の玉の数がなんと同じ。大いに盛り上がりました。学校対抗のリレーでは、残念ながら一等にはなれませんでした。バトンを持って走る姿はやる気に満ちて輝いていました。



このさわやか体育大会を通して、競い合う楽しさを味わったり、他校の友達と交流を深めたりできました。

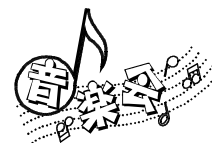
## 読書のすすめ

学校図書館主任 渡部 洋子

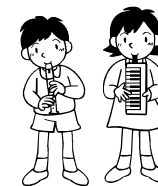
インターネットにこんな記事がありました。「イギリスのサセックスにある大学で、心拍数などから読書、音楽視聴、1杯のコーヒータイム、テレビゲーム、散歩それぞれのストレス解消効果を検証したところ、読書は68%、音楽視聴は61%、コーヒータイムは54%、散歩は42%、テレビゲームは21%のストレス解消効果が現れたそうです。また、静かなところで読書を行えば、わずか6分間で60%以上のストレス解消効果を得られるとのこと。ただし、本を読むこと自体が重要なのではなく、本を読んでいる時間は現実世界のことを忘れてしまうくらい夢中になる事が重要であり、本の内容に没頭しないと効果が最大限に得られないとのこと。」



北久米小学校では、今年も「めざせ100さつ」を目標に、全校児童が読書をすすめ、すでに十数名がその目標を達成しています。業間や昼休みに図書館をのぞいてみると、楽しそうな子どもたちの笑顔があります。彼らのような笑顔ができるように、家庭でも秋の夜長に読書をしてみてはいかがでしょうか。😊



## 松山市小学校連合音楽会に参加して



ステージに立つと、お客さんが多くてすごくきんちょうしました。歌っているうちに、きんちょうがとけて笑顔で歌うことができ、合奏も楽しくリズムにのって演奏ができました。

1組 R・T

「ドン！」水軍太鼓のはりきった音が体中にひびいて幕があがりました。どの学校もはく力のある合奏や美しい歌声で演奏ができていました。自分たちの出番も集中して、がんばりました。

2組 N・S



5年生は11月5日に松山市市民会館で行われた、松山市小学校連合音楽会に参加しました。「フレンドシップ」の合唱や「ソーラン節」の合奏では、真剣に練習に取り組んできた成果を十分に発揮することができました。他校の小学校の演奏もしっかり聴くことができ、よい体験ができました。

たくさんの学校の演奏が聞けてとてもよかったです。歌や合奏で百パーセントの力をだせたので、校内音楽会では百二十パーセントの力ががんばります。

3組 M・N

昼休みに歌や合奏の練習をしました。一番がんばったのは、フレンドシップの歌です。高音と低音に分かれて、きれいなハーモニーをつくれるようにみんな練習をしました。

4組 I・T

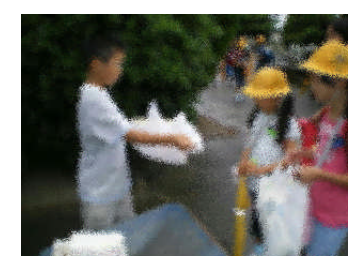
## リサイクル活動

ピカットエコロジー委員会 松本 由香利

「アルミ缶を32個持ってきました。」と、袋一杯にして持って来てくれます。北久米小学校では、毎月第3週の火曜日から金曜日までを、リサイクル週間としています。アルミ缶や新聞紙、牛乳パックを回収しています。回収した物は、業者の方に引き取ってもらい、昨年度は、テレビのゴミを吹く『ほこりキャッチャー』と花瓶を買わせていただきました。今年も、たくさんのアルミ缶や新聞紙、牛乳パックが集まりました。ご協力ありがとうございます。また、引き続きリサイクル活動を行っていきますので、ご協力よろしくお願ひします。



[ アルミ缶回収 ]



[ 新聞紙回収 ]